



ふくしま教育ニュース

2019年11月 第53号 編集・発行 福島県教育委員会

農業系高等学校の挑戦！認証GAP取得学校数全国一！

県教育委員会では、GAP(ギャップ)教育を推進しています。今年5月にGAPを取得した学校数が10校となり、認証GAP取得学校数で全国1位となりました。

先進県の生徒と交流を行いました

訪問先 三重県立久居農林高等学校他2校

実施期間 8月26日～28日

派遣生徒 16名

岩瀬農業高等学校、白河実業高等学校、
小野高等学校、会津農林高等学校、
相馬農業高等学校



【三重県立相可高等学校
(松阪牛: JGAP認証取得)訪問】
*JGAP:日本独自のGAP認証



【三重県の農業高校生と交流意見交換会】

訪問先 青森県立五所川原農林高等学校

実施期間 9月17日～19日

派遣生徒 16名

福島明成高等学校、安達東高等学校、
修明高等学校、耶麻農業高等学校、
磐城農業高等学校



【青森県立五所川原農林高等学校
(リンゴ: GLOBALG.A.P.認証取得)訪問】
*GLOBALG.A.P.:国際的なGAP認証



【青森県の農業高校生との交流意見交換会】

訪問団は、両県の認証農場の施設設備やGAP認証公開審査会の視察、成果発表・意見交換などの交流を通して、生徒が主体的に取り組む優れた農場管理の手法や新しい時代に求められる経営感覚を学びました。

今後、各農業系高等学校は、来年のオリンピック・パラリンピックへの食材提供やホストタウンとの連携事業に向けた特色ある取組も進めていきます。

*GAP(Good Agricultural Practice:農業生産工程管理)とは、農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組のことです。

県立聴覚支援学校福島校の新校舎が完成しました

施設の老朽化により建設を進めていた福島県立聴覚支援学校福島校の新校舎が完成しました。令和元年9月2日(月)に行われた新校舎落成式では、鈴木教育長から幼児児童や保護者に対し、「皆さんが喜ぶ様子を見て大変うれしく思います。新校舎での学習を頑張りましょう。」と励ましの言葉がありました。

新校舎には、大型のモニターが設置され、校内放送や緊急情報等を文字や映像で視覚的に伝達できるシステムを県内の特別支援学校で初めて導入するとともに、音声を補聴器に直接伝達し、共有できる集団補聴システムも完備されています。

今後も、子どもたちの夢の実現を後押しできるよう、一人一人のニーズに応じた支援を切れ目なく行ってまいります。

